



ごとう整骨院News

<http://www.goto-hand.com/>

当院キャラクター「ほねボーヤ」

Vol, 22 9月号

低髄液症候群 (脳脊髄液減少症)

今月は聞きなれない低髄液症候群(脳脊髄液減少症)をお送り致します。交通事故のむちうち後に発生する事もあるのをご注意下さい。

1938年のドイツの内科医によって始めて報告される。

外傷(むちうち)や腰椎穿刺などにより脳脊髄液が硬膜外に漏れ出し髄液圧が低下し、髄液が頭蓋内から脊髄腔への移動に伴い神経や血管が牽引され頭痛やめまい、吐き気を起こすものである。寝ているときよりも立っているときのほうが頭痛が出やすい。(起立性の頭痛)

*交通事故後の

脳脊髄液減少症

頭痛・めまい、記憶力低下、無気力、倦怠、動悸、体温調節障害、消化器症状、自律神経症状、記憶力低下、集中力低下、睡眠障害、内分泌症状、易疲労
高度の脱水による髄液産生低下も原因になる。

交通事故との関連は学会ではいまだ認められていないものの、民事裁判が進行中である。自賠責後遺症診断では外傷性脳脊髄液減少症をまったく認めず大多数の損害保険会社は治療費の支払いを拒否している現状がある。

脳脊髄液減少症

ガイドライン2007

1、脳脊髄液減少症の定義
脳脊髄液腔から脳脊髄液が持続的ないし断続的に漏出することによって脳脊髄液が減少し頭痛、頸部痛、めまい、耳鳴り、視機能障害、倦怠などさまざまな症状を呈する疾患である。

II、症状

頭痛、頸部痛、めまい、耳鳴り、視機能障害、倦怠、易疲労感が主要な症状である。これらの症状は座位、起立位により3時間以内に悪化する例が多い。

随伴症状：顔面痛、顔面しびれ、顔面神経麻痺、聴覚過敏、意識障害、無欲、小脳失調、歩行障害、パーキンソン症候群、認知症、記憶障害、上肢の痛み・しびれ、神経根症、直腸膀胱障害、乳汁分泌、悪心・

嘔吐、頸部硬直、肩甲骨感痛、腰痛など

III、画像診断

1、R-脳槽シンチグラフィー
下記の二項目以上を認めれば髄液漏出と診断する。

- 1) 早期膀胱内R-集積像
- 2) 脳脊髄液漏出像
- 3) R-クリアランスの亢進

髄液を増加させるにはよい睡眠、十分な栄養、水分摂取、適度の運動が有効である。

(20分ほどの散歩)

治療は安静臥床、ダメな場合ブラッドパッチ療法を行う。

*ブラッドパッチとは？

ブラッドパッチ療法は髄液漏出部の閉鎖を目的に自己静脈血を硬膜外に注入する。腰椎部で20~40ml、頸椎・胸椎部では10~15ml前後である。この療法の歴史は古い。が、保険適用外の治療であり、十分に検討してから行うこと。決して安全な治療法ではなく安易に行うべきものではない。複数回のブラッドパッチが必要な場合や無効例もある。(院長 後藤)

診療時間

9:00 ~ 12:30
15:00 ~ 20:00
土曜日は午前中のみ
日曜・祝祭日は休診
9/11・25(日)
午前中診療します

ごとう整骨院

携帯サイト



自律神経リラクゼーション療法は当院の
独自療法です。他院では受けられません!!!
今月院長は9/5~10夏休みです。
また21(水)お休みです。

キュウナツツオ-コトウ
048-942-0510
診療時間のみ受付です